

なぜ 反対するのか

▼ 関谷断層が近くに

関谷断層とは、栃木・福島の県境から、那須塩原市、矢板市、塩谷町にまたがる、総延長約38キロメートルの断層です。政府の地震調査研究推進本部がマグニチュード7級以上の地震の危険性を指摘する全国110カ所の主要活断層の一つです。

ば、断層の西側の地層が約3メートル高い段差となる恐れがあります。地震が起こる可能性は低いとされていますが、もし地震が発生したら、最終処分場の施設が被害にあわないという保証はありません。

▼ 水源地の近くに

建設候補地は、高原山の中腹に位置し、下流には塩田ダムがあり、農業用水として利用しています。また、北東には、多くの市民の飲料水を供給している寺山ダムがあります。これらのダムは、今回の候補地から標高が低いところにあることから、地震などの影響



地震調査研究推進本部ホームページより

により、施設から放射性物質が漏れたした場合、市内において水が飲めなくなるほか、農作物にも甚大な被害をもたらすこととなります。

▼ 風評被害の影響

矢板市は、放射線量の汚染状況重点調査地域に指定されており、現在除染に取り組んでいます。農作物を中心に多くの風評被害が報告されています。これに加えて、最終処分場が建設されることになれば、さらに風評被害が広がる可能性があります。また建設もされていないのに、候補地に選定されたというだけで、影響が出ているという報告もなされています。市の重要な産業である農業を守っていかなくてはなりません。

今何をしているのか

▼ 市の活動

市議会では、「白紙撤回を求める意見書」をいち早く可決し、首相、環境相に提出しました。また、知事や栃木県選出の国会議員のもとに「白紙撤回を求める要望書」を提出しています。市では、全職員を対象とした勉強会を開催したほか、この問題に対し、若手職員で構成するプロジェクトチームにより、調査、研究、問題点の洗い出し作業を行っています。

■ 今までの経緯

- 9月3日(月) 環境副大臣から矢板市が最終処分場候補地となったことが伝達
- 9月6日(木) 五行政区(塩田・倉掛・片保・合会・幸岡)への状況説明会
- 9月7日(金) 矢板市議会定例会「白紙撤回を求める意見書」を可決
- 9月13日(木) (意見書を首相、環境相らに送付)臨時区長会議
- 9月14日(金) (全市民的な反対組織設立総会の開催を決定)
- 9月24日(月) 「指定廃棄物最終処分場候補地の白紙撤回を求める矢板市民同盟会」設立会議 以下「同盟会」
- 10月10日(水) 高秋市長および議長来庁
- 10月13日(土) (共同歩調で白紙撤回を求めていくことを合意)
- 10月13日(土) 同盟会実行委員会設立
- 10月16日(火) (12月2日(日)に長峰公園において1万人の反対集会開催を決定)
- 10月18日(木) 市議会が知事に白紙撤回を求める要望書を提出
- 10月22日(月) 市議会が県選出の国会議員に白紙撤回を求める要望書を提出
- 10月25日(木) 市長・市議会・同盟会・区長会が白紙撤回を求める要望書および署名(約2万5千人分)を環境省および県選出の国会議員に提出
- 11月9日(金) 同盟会実行委員会
- 11月12日(月) (高秋市と連携し12月20日(木)に日比谷野外音楽堂における反対集会の開催を決定)
- 11月12日(月) 市長・同盟会が高秋市を訪問
- 11月12日(月) 臨時区長会議
- (1万人集会への参加者を6千人集めること合意)

▼ 署名活動

候補地に選定されてから、地元塩田行政区や区長会の皆さんを中心に、建設の白紙撤回を求める署名が集められました。4万5千人にもおよび署名は、園田環境副大臣に対して提出しました。署名活動は、今も継続して行われています。

▼ 他市との連携

市では、同様に処分場候補地に選定された茨城県高萩市とともに、白紙撤回に向けて共同歩調を取り、この問題に取り組んでいます。お互いに行き来

▼ 市民同盟会の活動

9月24日に設立した「指定廃棄物の最終処分場候補地の白紙撤回を求める矢板市民同盟会」(以下、同盟会)では、実行委員会や企画委員会などを組織しました。市民の方を対象とした勉強会の実施やホームページの開設(https://yaita-doumeikai.net)、広報紙の発行など、白紙撤回に向けたさまざまな活動が、積極的に行われています。

今後 どうしていくのか

処分場建設候補地の白紙撤回を実現するためには、今後も継続してこの問題を訴え続けていく必要があります。そのため、市では、12月1日付で「放射能汚染対策課」を設置しました。専任の職員を配置することで、この問題に対する調査、研究、市民の方との調整に力を入れるとともに、放射性物質の除染作業などを、今後は5人体制で取り組んでいきます。

同盟会では、今後、12月2日(日)に長峰公園で、白紙撤回を求める「1万

この白紙撤回に向けては、多くの市民の皆さんにより、署名活動、調査研究、啓発活動が行われています。皆さんが、よく口にするのは、「この問題を次の世代に持ち越さない」「自分たちの代で解決する」ということです。そのため「なにをしなければいけないのか」今後も考え、活動し続けていく必要があるのです。



10月22日(月)、園田環境副大臣に要望書と署名を提出：下野新聞提供



農業用水として利用されている塩田ダムの水。



11月9日(金)、茨城県高萩市の草間吉夫市長と遠藤忠市長、両市の市民同盟会同士が、高萩市役所で、「選定の白紙撤回に向けて共同歩調を取る」とする合意書を締結。



11月16日(金)、市民同盟会による勉強会で参加者が「ふるさと」を合唱
問い合わせ/放射能汚染対策課 ☎(43)1114